水源の状況と天候の見通し

（７月～９月）

１　東海地方の天候（６月）……1

２　ダム地点の降水量（６月）……1

３　水源の状況と天候の見通し……2

（１）水源の状況……2

（２）東海地方の３か月予報（７月～９月）……4

令和７年７月４日

公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会

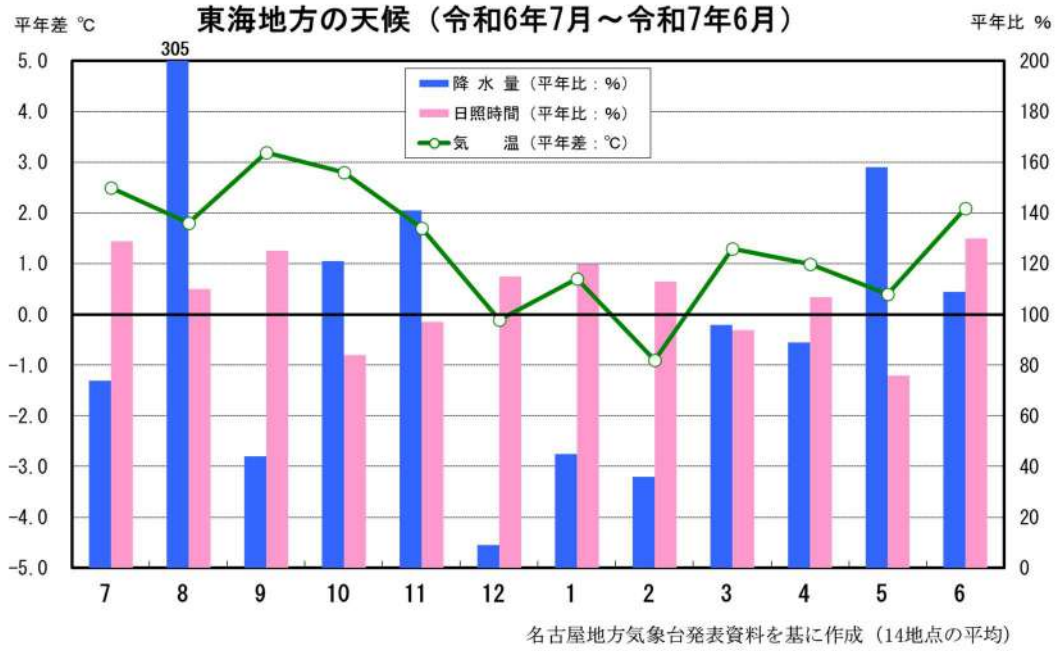
（https://www.aitoyo.or.jp/）

1　東海地方の天候(6月)

上旬の終わりから中旬の前半や下旬の中頃など、梅雨前線や湿った空気の影響を受けた時期があり大雨となった日もありましたが、６月としては高気圧に覆われやすく晴れた日が多くなりました。このため、月間日照時間はかなり多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすく月平均気温はかなり高くなり、平年差+2.1℃と 1946 年の統計開始以降、６月として１位の高温となりました。なお、東海地方は９日ごろ梅雨入り（速報値）したと見られます。

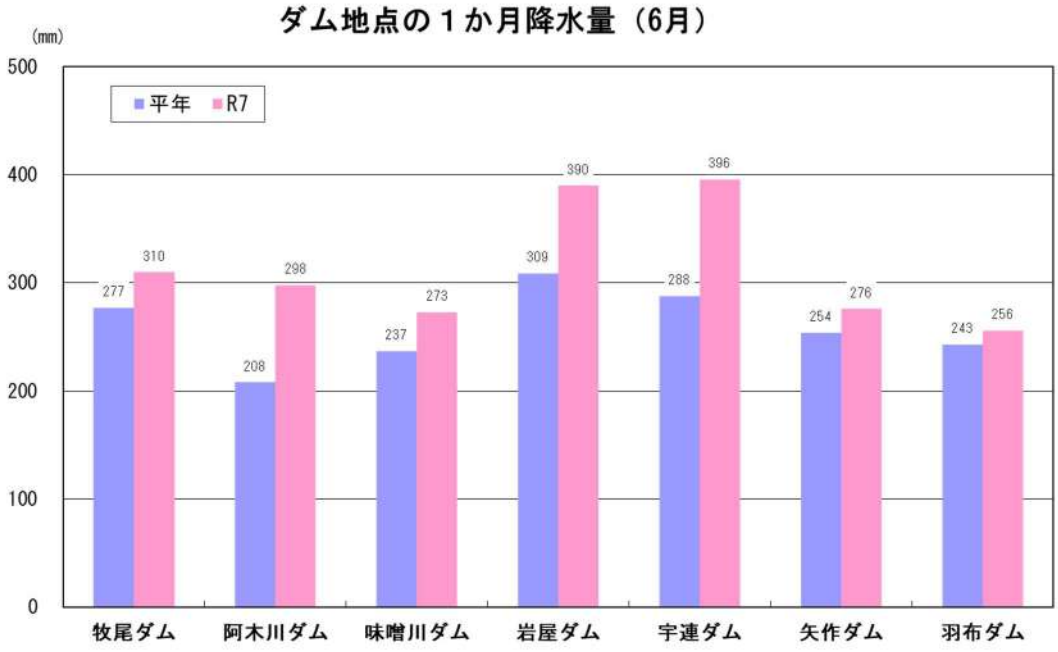
月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

（名古屋地方気象台　令和７年７月２日発表資料を基に作成）



2　ダム地点の降水量(6月)

ダム地点の１か月の降水量は、７地点の平均で平年比１２１％となりました。



３　水源の状況と天候の見通し

(1)水源の状況

令和７年６月３０日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。

当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索
(https://www.aitoyo.or.jp/

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し（３か月予報）［月１回更新］

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

R7.6.30

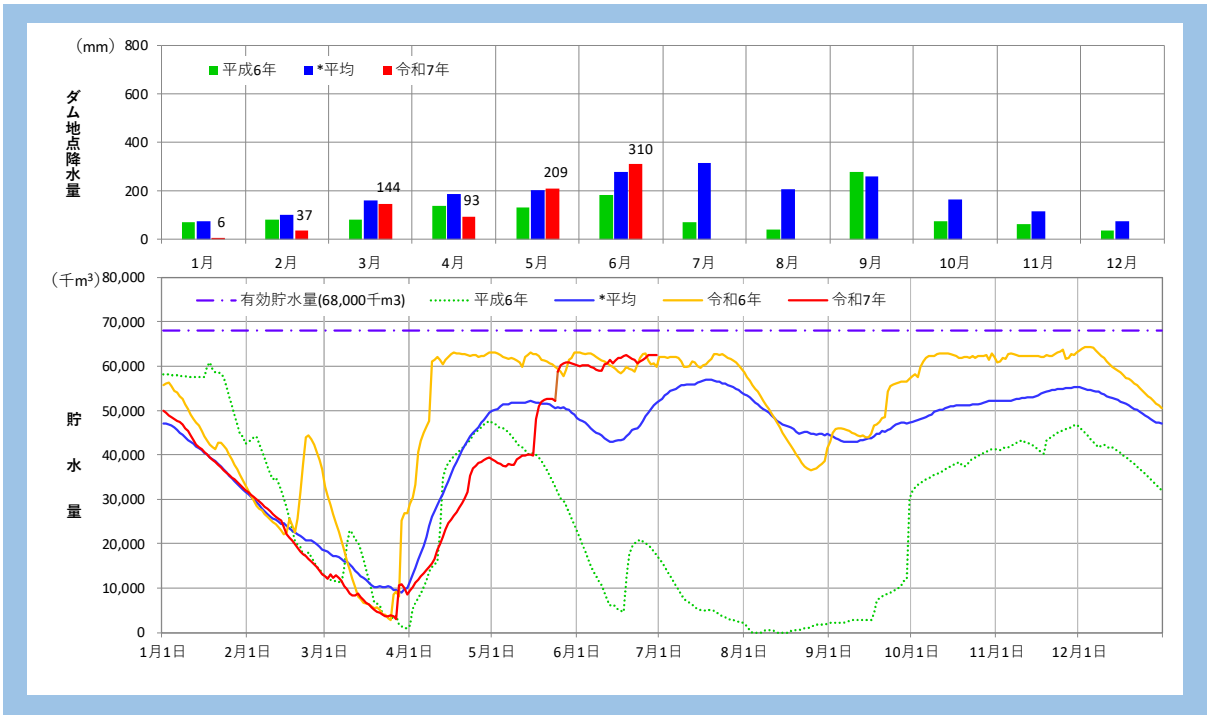
水　　源	利水容量（千m3）	貯 水 量（千m3）	**貯水率（%）**	平年貯水率（%）	平年との差（%）
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	62,424	**91.8**	76.1	＋ 15.7
阿木川ダム	22,000	21,787	**99.0**	90.2	＋ 8.9
味噌川ダム	31,000	31,000	**100.0**	97.3	＋ 2.7
岩屋ダム	61,900	61,900	**100.0**	92.8	＋ 7.2
豊川水系					
宇連ダム	28,420	26,842	**94.4**	72.5	＋ 22.0
豊川用水全体	51,820	48,865	**94.3**	80.1	＋ 14.2
矢作川水系					
矢作ダム	50,000	41,100	**82.2**	79.3	＋ 2.9
羽布ダム	18,461	17,303	**93.7**	75.9	＋ 17.8

注）貯水率は、当日の24時（木曽川・豊川）または9時（矢作川）の値

貯水量曲線は、ホームページ「ダム貯水率」及び、「ダム貯水量曲線」に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量　62,424 千m3　**6月30日** 現在

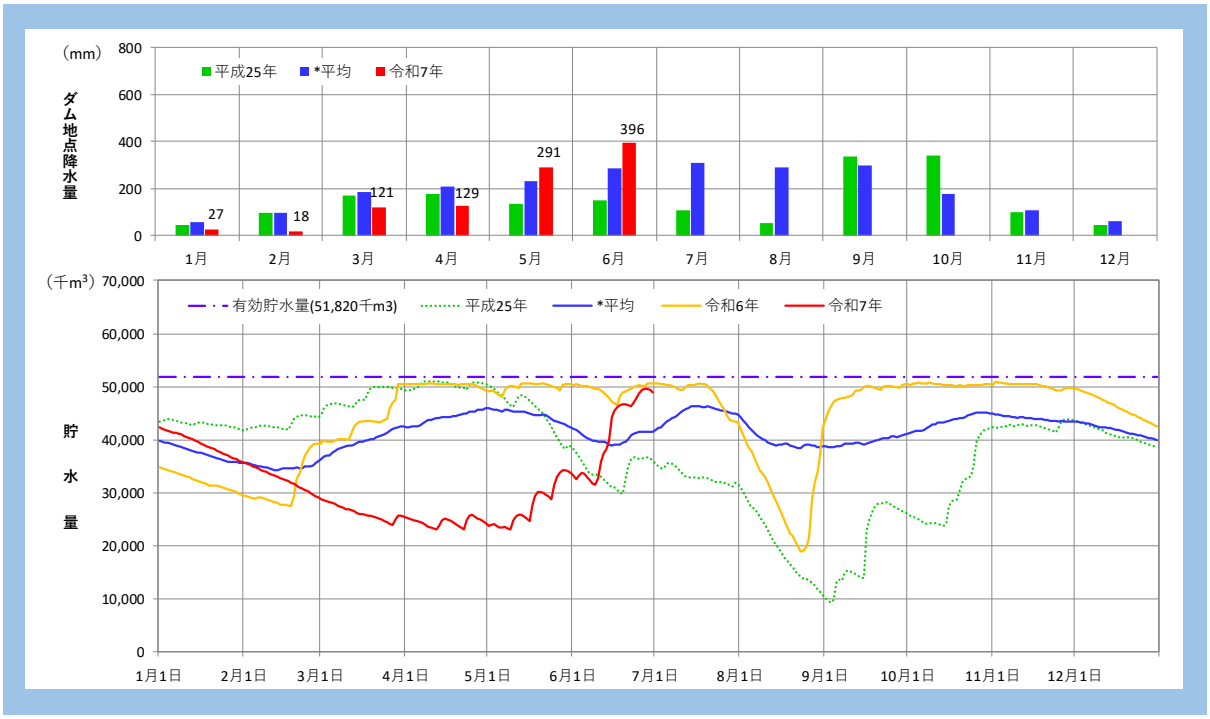


*平均：昭和37年1月から令和6年12月

（データ提供：独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所URL https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/）

豊川用水全体の貯水量曲線

貯水量　48,865 千m3　6月30日 現在



*平均：平成14年4月から令和6年12月（雨量は昭和43年4月から令和6年12月）

（データ提供：独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/）

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量　17,303 千m3　6月30日 現在

*平均：昭和39年1月から令和6年12月

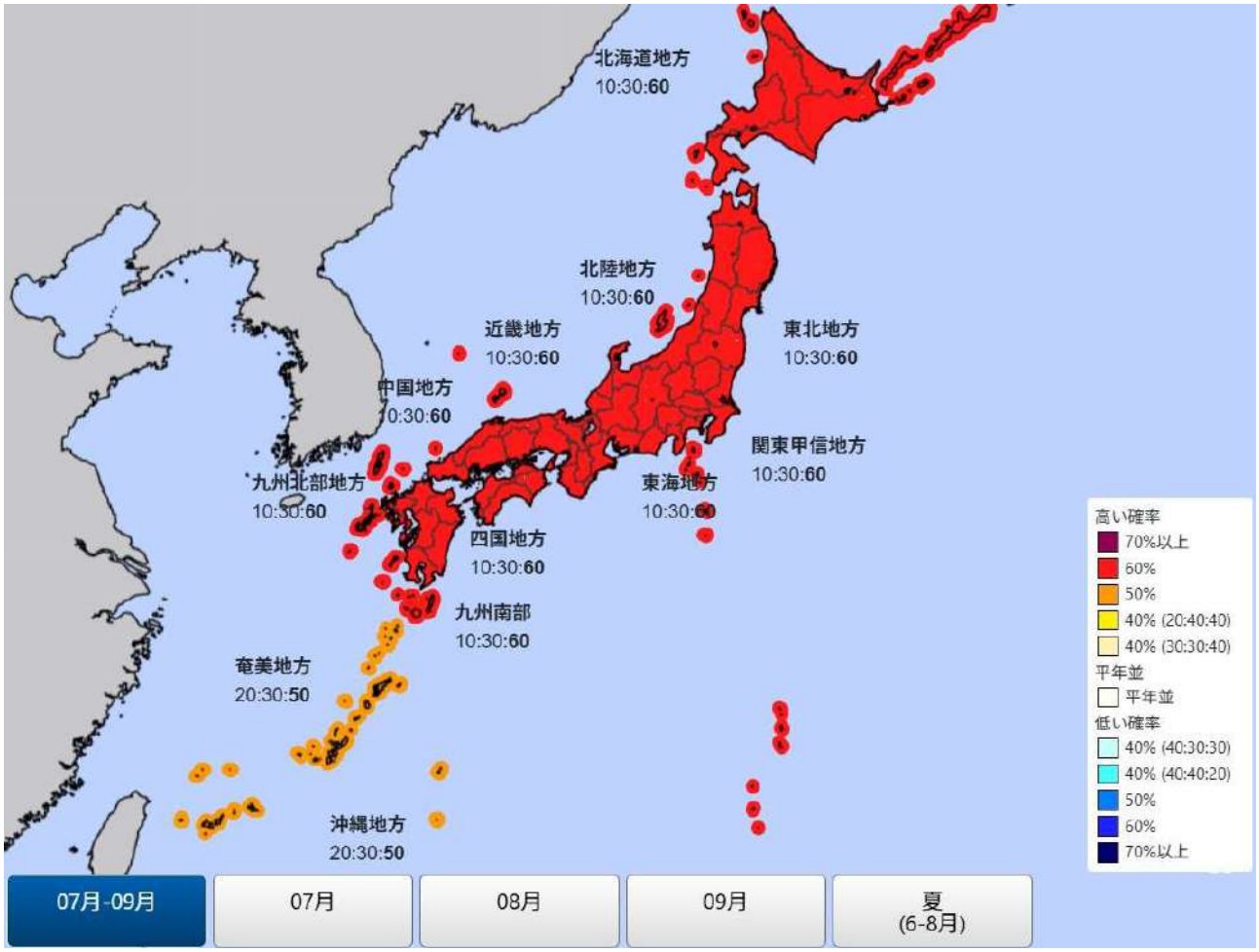
（データ提供：愛知県西三河農林水産事務所用水管理課）

(2)東海地方の3か月予報(7月～9月)

（名古屋地方気象台　令和７年６月24日発表資料を基に作成）

① 気温

東海地方の３か月全般（７月～９月）の平均気温は、下図のように、低い確率が１０％、平年並が３０％、高い確率が６０％の予報となっています。

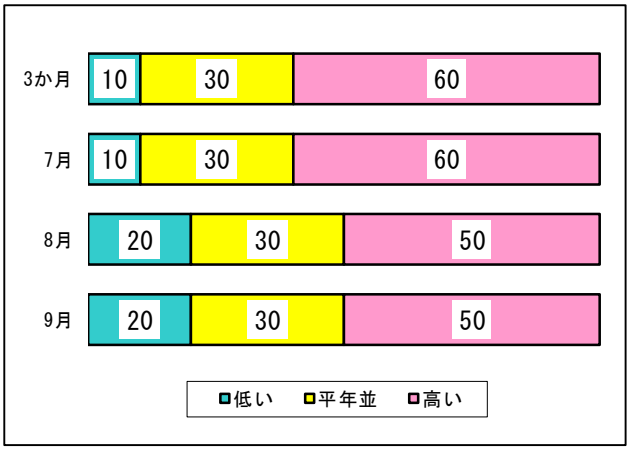


同様に、７月から９月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5 段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、３か月全般で[+4]、７月は[+4]、８月、９月は[+3]となります。

気温の各階級の確率（%）　（東海地方）



各階級の確率と等級　（東海地方）

気　温	等　級	予報確率	3か月	7月	8月	9月
高　い	+5	:　:70				
	+4	:　:60	●	●		
	+3	:　:50			●	●
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40				
平年並	0					
	−1	40:30:30				
	−2	40:40:20				
低　い	−3	50:　:				
	−4	60:　:				
	−5	70:　:				

② 降水量

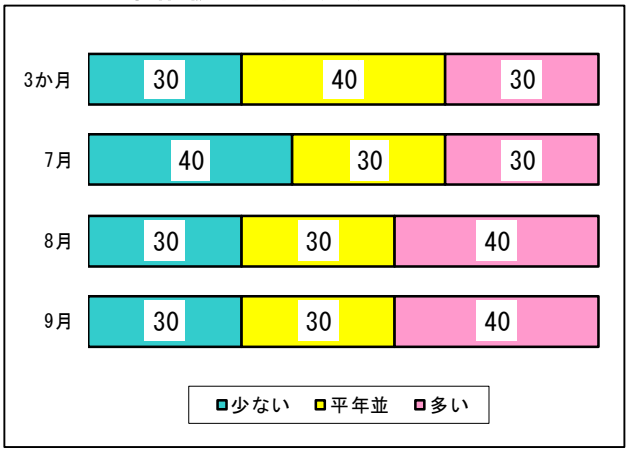
東海地方の３か月全般（７月～９月）の降水量は、下図のように、少ない確率が３０％、平年並が４０％、多い確率が３０％の予報となっています。

同様に、７月から９月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5 段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、３か月全般で[0]、７月は[-1]、８月、９月において[+1]となります。

降水量の各階級の確率（%）　（東海地方）



各階級の確率と等級　（東海地方）

降水量	等　級		予報確率	3か月	7月	8月	9月
多　い	+5		:　:70				
	+4		:　:60				
	+3		:　:50				
	+2		20:40:40				
	+1		30:30:40			●	●
平年並	0			●			
	−1		40:30:30		●		
	−2		40:40:20				
少ない	−3		50:　:				
	−4		60:　:				
	−5		70:　:				